

会 議 録

会議の名称	第6回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	令和5年7月25日(火) 午後7時00分～午後8時30分
開催場所	戸田市役所5階 大会議室AB
委員氏名	<input checked="" type="checkbox"/> 横山 誠 <input type="checkbox"/> 岩本 恭幸 <input type="checkbox"/> 木本 篤史 <input type="checkbox"/> 芳賀 良 <input type="checkbox"/> 細井 翔太 <input type="checkbox"/> 宮澤 正 <input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 宮澤 浩二 <input checked="" type="checkbox"/> 浅生 和英 <input checked="" type="checkbox"/> 古屋 としみつ <input checked="" type="checkbox"/> 牧野 秀平 <input type="checkbox"/> 長尾 愛子 <input checked="" type="checkbox"/> 松下 啓一 <div style="text-align: right;"> (<input checked="" type="checkbox"/>委員長 <input type="checkbox"/>副委員長) (<input type="checkbox"/>出席 <input checked="" type="checkbox"/>欠席) </div>
説明のために出席した者等	
事務局他	市民生活部協働推進課 峰岸課長、江口副主幹、秋山主任
議 題	(1) 答申について (2) その他
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員長	<p>1 開会 委員の紹介</p> <p>2 挨拶 横山委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>議題(2) その他</p> <p>本日の会議時間と内容を考え、前回と同様に次第の内容を一部変更して進めていきたい。まず初めに議題(2)その他についてご報告いただき、その後議題(1)答申についてグループごとのディスカッションに移りたいと思う。</p> <p>では、まず今年度の啓発活動案について、事務局より説明いただきたい。</p>
事務局	<p>資料2ページについて説明。</p> <p>今年度は、多世代の市民の参加が期待でき、前回のようなブースでの啓発活動が可能である10月21日(土)商工祭と、3月下旬開催予定のさくらパルまつりの2か所での実施が出来ればと考えている。</p> <p>以前メールにて商工祭への参加可否についてお伺いし、現時点では半日のみ可が2名、全日可が1名、参加可能とお返事をいただいている。出来ればあと2名以上のご参加をいただきたい</p> <p>また、活動内容についても皆さまから意見をいただいで実施できればと考えている。</p>
委員長	<p>事務局の説明について何か質問はあるか。</p>
委員	<p>(特になし)</p>
委員長	<p>今年度は事務局の説明にあった2つの行事での啓発活動が出来ればと思う。</p>

	<p>今日は改めて10月21日(土)商工祭について、ご参加いただける方を募りたい。事務局の説明では、あと2人以上とのことだが、以前にメールをいただいた方も含め、改めて挙手をいただきたい。</p>
委員	<p>(委員6名挙手)</p>
委員	<p>午前中のみ参加可能だが、それでも大丈夫か。</p>
事務局	<p>午前のみ、午後をみの参加も可能である。もし午前中のみ可能な方が多い場合は、午前中のみの実施でも可能かどうか、商工祭の事務局に後で確認するが、現時点での人数が啓発活動の実施には必要不可欠であるので、挙手いただいた方には是非ともお願いしたい。</p>
委員長	<p>皆さんお忙しい中かと思うが、是非とも継続した啓発活動ができればと思うので、可能な方はお願いしたい。 他にもご意見やご提案があれば、事務局に連絡してほしい。</p>
事務局	<p>啓発活動の内容について、ご意見やご質問は何かあるか。</p>
委員	<p>商工祭は雨でも開催されるのか。</p>
事務局	<p>商工祭は台風など荒天でなければ実施を予定している。</p>
委員長	<p>集合時間などの詳細は追って事務局より連絡させていただく。啓発活動の内容についても、ご意見があれば事務局に連絡してほしい。</p>
委員長	<p>次に、Zoomを利用した研究会の実施について私からお話したい。 資料の3ページと参考4の会議録のとおり、5月23日に第3回Zoom de まちづくりを開催し、「Z世代のまちづくり」と題し、細井委員が発題者となり、Z世代の特徴や傾向、まちづくりに対する考えについてお話いただき、その後、感想や質問などを参加者がそれぞれ行った。若い世代の話に耳を傾ける機会となり、今後の日本の担い手となる世代でもあるZ世代について学ぶ時間となった。細井委員に改めて感謝したい。今後も様々なまちづくりの担い手の活動や考えを知り、寄り添い、応援していくスタイルを作っていけたらと思う。 次回は9月末(9月26日か28日)に開催したいと思っている。</p>

	<p>今まで同様に私が主催し、正式な日程や発題者が決定次第、事務局経由で連絡するので、積極的な参加をお願いしたい。</p>
委員長	<p>(2) その他については以上となるが、委員の皆さんより全体を通して何か意見等はあるか。</p>
委員	<p>(特になし)</p>
事務局	<p>今後の委員会や Zoom 研究会の開催日時について、ご都合を伺いたい。 例えば平日の午前中や 18 時からの開催はどうか。</p>
委員	<p>事前に日程が分かれば調整可能である。</p>
委員	<p>平日の日中は仕事をしており、18時は間に合わない。</p>
事務局	<p>では、今まで通り 19 時からの開催としたい。次回は 10 月 24 日 (火) を予定している。後日改めて開催通知を送らせていただく。</p>
	<p>議題 (1) 答申について</p>
委員長	<p>それでは議題 (1) 答申について進めていきたいと思う。 参考 1、2 のとおり、事務局が作成した答申案から抽出した 3 つのテーマで副委員長を中心にワーキンググループを実施し、多くの委員にご参加いただいた。 よってまず、副委員長よりワーキンググループで話し合った内容について報告をお願いしたい。</p>
副委員長	<p>今回の答申は抽象的なことを書いても意味がなく、具体的なことを書きたいと思い、ワーキンググループを 6 月に実施した。 参考 1 がワーキンググループを経た答申案となっている。事務局でたたき台を作ってもらい、それを基にグループワークを行った。 具体的には、参考 1 の 4 ページにある①市民活動の支援について②町会・自治会の支援について③情報発信の仕方について の 3 つについて話し合いを行った。この 3 つについて、今後はより具体性のある</p>

	<p>答申を目指して議論してはどうかと思う。</p>
委員長	<p>ワーキンググループでは、広くすべてを網羅するというよりは、より優先的に取り扱うべき課題として3つのカテゴリーに分け、市民・議会・行政の3者それぞれの立場で意見を出してもらったと聞いている。</p> <p>今後、委員会での議論する答申の具体的施策は、①市民活動の支援について②町会・自治会の支援について③情報発信の仕方について、この3つのカテゴリーに絞っていく形でもよいか。</p>
委員	<p>(全員異議なし)</p>
委員	<p>3つのカテゴリーに絞ることに異論はない。しかし、答申案を見ると、どうして3つのカテゴリーに集約したのか、議論の過程や話のつながりが不明瞭である。プロセスが分かるように目次を作ってまとめるのはどうか。</p>
委員長	<p>意見を1つにまとめようとするのではなく、どうかと思うことがあれば補足のような形で入れればよいと思う。今は皆さんの言うことを言っただき、協議していければよい。ただしカテゴリーとしてはこの3つで集約して答申にまとめていきたい。もし別のご意見があれば次の話し合いなどで行っていければと思う。</p>
事務局	<p>あくまでも参考1の答申案は、今までの議論を羅列したもので、これが答申ということではない。図表などではなく文章で作成されるものであるというイメージを示したものである。そのため、委員会では答申に何を入れたいのかを議論していただきたい。</p>
委員	<p>Zoom 研究会とワーキングが分科会のような形で存在している。組織図のような形で入れた方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>答申はあくまでも質問に対しての答えであり、説明文や活動報告ではないので、今はその内容を検討するべきではない。</p>
委員長	<p>では、早速グループごとに分かれてグループディスカッションを進</p>

	<p>めていただきたい。特に進め方について意見がなければ、このまま話し合いを始めてもらいたい。</p> <p>《主に市民活動の支援について、2グループに分かれて話し合いを行う》</p> <p>(グループ1の内容)</p>
委員	ワーキングの中で、市民活動の場について。活動の場所が少なく、市役所の会議室を使えるようにしてほしい等の意見があった。
委員長	戸子連の活動場所は、学校などを利用しているのか。
委員	市の施設を利用している。さくらパル、あいパルなどの公共施設に利用申込をして、料金を支払って利用している。ただ、市からの補助金で活動している団体なので、自腹で払っているものではない。
委員長	活動の場所についてはどうか。
委員	私的な団体とは違うので、活動の場所の利用について、もう少し公共性があってもいいのではと思う。
委員長	活動の場所について、利用時間の拡大や、利用する団体ごとの融通性ももう少し検討されても良いのではないか。
委員	利用する団体ごとの活動内容や実績について把握していないと、融通性を図るとか、優先させるなど判断できないのではないか。
委員	線引きは難しいかもしれない。各団体の活動内容によってどう判断するかなど、公共性の判断は難しいと思う。
事務局	学校開放など、公共性の高い活動については、現在も優先的に利用を認めている。また、公園の占有なども同様である。
委員長	一般の団体でも公園利用は認められたりするのか。
事務局	担当課に申請し、認められれば利用は可能かと思う。ただ、営利目

	<p>的等である場合は、使用料が発生するなど、条件もあると思うので、担当課と団体とで利用する際は調整が必要ではある。</p>
委員長	<p>現在も、公共性の高い活動については、優先的に活動の場を利用できたりはしているということか。</p>
事務局	<p>市が協賛しているものや、町会などについては、そのような取り扱いをしている場合もある。</p>
委員	<p>団体向けに、市役所の会議室を貸出したり、利用できたりはしないのか。</p>
事務局	<p>市役所の会議室は、一般向けのものではないので、貸出や利用は出来ない。また、会議室の数も限られていることから、難しい。</p>
委員長	<p>2016年に政策研究所の発行した意識調査を拝読した際、若い世代が、まちのなかに入っていききっかけがない、繋がりが無い、居場所がないなどの意見があった。年代が上がっていくと、子供の関係等で自然と繋がりが出来ていっているように思うが、若者は繋がるきっかけや、繋がる場がないので、市民活動をしようにも難しいのではないのか。</p>
委員	<p>若者のコミュニティの不足はあると思うが、そういった場があったとしても、若者は行かないかもしれない。</p> <p>話は少しそれるが、現在は、オフィスを持たない企業が、コアワーキングスペース等を利用し、そこで企業同士が交流し、コネク션을形成し、繋がっていくことが主流になりつつある。</p> <p>市にかかわる人として、市の企業同士が、そういったコアワーキングスペースを利用して繋がっていくことによって、会社の活動の支援にも繋がるし、戸田市が抱える中間人口と夜間人口の差の解消にもつながるのではないのか。</p>
委員長	<p>企業と企業が、コアワーキングスペースを通じて、繋がりを持てるような支援も必要かもしれない。また、ワールドカフェ形式などで、テーマを決めて集い、様々な立場の人たちの出会いの場づくりも、担い手を育成していくことに繋がるのではないのか。</p>

	<p>そうなると、この委員会では難しいので、運営企画するような団体が必要ではないか。</p>
委員	<p>コアワーキングスペースとは、どんなイメージのものなのか。</p>
事務局	<p>以前戸田市にあった、オレンジキューブのようなイメージである。しかし、オレンジキューブは、起業を支援する施設なので、どちらかというと、コアワーキングスペースやシェアオフィスは、企業向けのものである。</p>
委員	<p>起業を考えている人が企業と繋がれるような、オープンスペースな場も最近はある。</p>
委員長	<p>戸田市には現在そういった場所はあるか。</p>
事務局	<p>戸田市としてはなく、商工会で提供しているかは、不明である。 例えば、ボランティアセンターにオープンスペースを作って、解放するというのも一つの方法ではある。</p>
委員	<p>公共施設の一角をオープンスペースで解放するという話から、地域の町会会館はどうかという話が以前の議論であったが、耐震性の問題や管理の問題等により、貸すことは難しいという話があった。</p>
事務局	<p>町会は任意団体であり、市民活動の一環として考える方が良いのではないか。</p>
委員長	<p>市民活動は重層的であり、様々な市民活動の一つとして町会・自治会活動も捉えるのがいいと思う。 ここまでの意見で、コアワーキングスペースの利用について。若い世代のまちに入っていくきっかけづくりについて。 なお、活動の場所については、施設によっては、利用時間及び団体種別ごとの優先利用については、現段階でも公共性を考慮したものになっている。</p>
事務局	<p>若い世代には、参加を促すより、市民活動の情報を発信し、それを知ってもらえればいいのではないか。将来的に興味を沸かした時に</p>

	担い手になってもらえばよい。そのために活動情報を提供し続けることが大切だと思っている。
委員長	若い人が大人と関わることはとても大切なことだと思っている。この委員会では難しいが、ワールドカフェ形式で若い世代や、様々な業種や団体が繋がりをもてるようなものを実現するには、どうしたらよいか。
委員	例えば戸田ポートコースなどを貸し切って、イベントをやるのはどうか。
委員	いきなり一人で団体に踏み込んでいくのは、敷居が高いので、イベントで、様々なブースで市民活動を体験できるようなものはどうか。
事務局	例えば、ふるさと祭りで機会を設けるのも一つの方法である。
委員	ふるさと祭りは、様々な市民団体も出ているので、参加することによって、市民活動を知ることが出来る良い機会になるのではないか。
委員長	まちづくりフォーラムのようなものを開催し、みんなが繋がる場や出会いの場になれば良いと思う。
委員	若い世代としては、コネクションを作れる場があるのはありがたいと思う。
委員	参加する人にメリットがあるようなものにすれば、企業なども多く参加できるような場になるとより良いと思う。
事務局	ふるさと祭りは、市民との協働もコンセプトにあり、イベントとしては、良いと思う。ただ、開催するにあたっては、委員になって頂き、企画運営する必要はある。
委員長	具体的な提案であり、今後検討していけたら良い。 他に何かご意見はあるか。
委員	戸田市や市民活動等の情報発信は重要であり、多くの情報の中から

	<p>ら、自分の欲しいコンテンツを選択して、受け取れることが大事だと思う。</p>
副委員長	<p>(グループ2の内容)</p> <p>今日は、より具体的なお意見をいただきたいと思う。</p> <p>答申ワーキングの中で市民活動の支援について出た意見では、公共施設予約の利用緩和があったが、具体的な内容や問題はなにか。</p>
委員	<p>特に戸田市文化会館を他の公共施設と同じように、施設利用の予約がインターネット上で出来るようにしてもらいたいと思っている。</p> <p>現在、戸田市文化会館の貸室は窓口に行かないと申込が出来ず、しかも午前・午後・夜間の3つの時間帯での貸出となっており、16時30分から17時までは清掃時間となっている。そのため、例えば小学生が多目的室を16時から17時まで利用したいと思っても利用できない。利用者目線を変えてもらいたい。</p>
副委員長	<p>他の公共施設はどのようになっているか</p>
事務局	<p>公共施設予約システムを利用し、インターネット上で予約が出来る。1時間単位での貸室を行っており、最大21時30分までの利用が可能な施設もある。</p>
委員	<p>戸田市文化会館も公共予約システムで同じように1時間単位で予約が出来るようにしてもらいたい。多くの市民が利用しやすくしてもらいたい。でも条例改正となるため簡単に変えられないと以前に言われてしまった。それでも、変えてもらいたいと思っている。</p>
委員	<p>市民活動を行う場所がなければ、活動する気運も高まらないと思う。もっと夜間の時間もないと、市民活動が出来ないのではないか。</p> <p>現状は21時30分までとなっているため夜間の利用者が少ないという可能性もあるので、もう少し夜の時間までやってみるという試みも必要だと思う。今まで日中仕事をしていて市民活動が出来なかった人も、リモートワークや働き方改革で夜に時間が出来てきて、活動の場所さえあれば活発になるかもしれない。</p>

	<p>また、図書館は20時までのため、自習室を使用している学生は21時過ぎまでの施設に移動するという話を聞いたことがある。開館時間を全体で合わせてもらいたいと思う。</p>
委員	<p>市民活動の場所となると、公共施設ではないが、町会会館も公共性の強い施設と言える。家の近所にある公共施設よりもむしろ利便性は高いと思う。しかしながら耐震性の問題であまり積極的に貸し出せないと聞いたことがある。</p>
委員	<p>町会会館は町会が管理している建物であり、修繕や立替は町会が行っている。市から補助金も一部出るが、費用が捻出できないうちなか維持管理は難しい。そのため、耐震性の問題がある町会会館もあると思われる。</p> <p>私の町会の会館は、町会員以外の市民にも広く利用できるようになっている。とはいえ、やはり耐震性に問題があり万が一災害が発生した際に倒壊などで被災された場合の補償は出来ないため、利用料は値上げせずそのままにしている。</p> <p>町会によって会館の利用料や利用基準はまちまちであるが、利用料は町会の収入となるため、利用してもらった方がよいと思う。</p>
委員	<p>共通の利用基準があれば、市民が利用しやすくなるのではないか。</p>
事務局	<p>ここで少し議論の方向性を変え、市民の目線で市民活動の支援について考えられることをご意見いただきたい。</p>
委員	<p>市民活動の体験キャンペーン期間や、参加体験のイベントを行い、参加者を募るのはどうか。市民活動への入口へのハードルを下げれば、参加しやすくなると思う。</p>
委員	<p>何かボランティアをやりたいが、何かが分からない人のために、チャート診断表を作成し、自分に何が向いているかが分かるようにして、その後に参加体験など案内していけば、効率的に自分に合う市民活動へ気軽に参加出来るようになるのではないか。</p>
委員	<p>既存の事業を活性化させるという視点で考えると、市民大学講座に市民活動のプログラムを入れ、市民活動を啓発させるのはどうか。</p>

委員	<p>議員と直接政策を議論する機会、そういった制度やしくみが作れないか。議員と市民との対話する機会がほしい。議員の地方視察に市民も参加できるようになるのもいいと思う。</p>
委員	<p>やる気のある人を集めて市民活動のリーダーを養成するような活動ができないか。集う機会の創出をしていくような啓発活動ができるかよいのではないか。</p>
委員	<p>市民大学講座には、やる気のある人が来ていると思うので、魅力あるプログラムを入れて市民活動に興味を持ってもらい、一歩踏み出してくれる人が増えればよい。</p>
副委員長	<p>議員との交流について、もう少し具体的な意見はあるか</p>
委員	<p>議員との勉強会という形が良い。講演会となると政治活動になってしまう傾向がある。外部評価などに関わった際に議員の意見を聞く場がたまたまあったが、議員も様々な方がいるので、市民と議員がお互いに学ぶ場というものがあれば、お互いに有意義だと思う。市民にとっても市民活動の成果の一つになると思う。</p>
委員	<p>市民活動は基本的に無報酬のボランティアであり、成果が出るものは少ない。でも、活動している人は自己達成感があるので続けている。そのため全部に成果を求めるのは難しいだろう。</p> <p>《以上でグループ討論終わり》</p>
委員長	<p>今回の議論で答申を作成するための内容は揃ってきたと思うので、ワーキングは開催せず、次回の委員会で、答申案の内容について議論できればよいだろう。</p>
事務局	<p>4 事務連絡</p> <p>次回の推進委員会は令和5年10月下旬に開催予定である。</p> <p>5 閉会</p>